

珍しい交響曲 スウェーデン Minor Symphonies Sweden

作曲者		生没年	交響曲の数	曲名	評価 ★★★★★:ぜひ聞いて欲しい ☆☆☆☆:聞く価値はある ※※:どちらとも言えない ×:聞く価値なし	コメント	○の曲のスコアは保有しています。	CD番号	レーベル
Franz Adolf Berwald	ベルワルド	1796-1868	4	交響曲第1番(1842)	☆☆☆☆	メンデルズゾーン、シューマンと同世代の作品ですが、彼らとは異なる個性が感じられます。		8.553051	NAXOS
				交響曲第2番(1842)	☆☆☆☆	聞き応えがあります。			
Ludvig Norman	ヌールマン	1831-1885	4	交響曲第3番(1881)	☆☆☆☆	聞きごたえがあります。ステンハンメルは”この曲はブラームスのどの曲よりも優れている”と褒めていたそうです。		ODE 1391-2	ONDINE
Wilhelm Stenhammar	ステンハンメル	1871-1927	2	交響曲第2番(1915)	☆☆☆☆	第1, 2楽章には北欧の感じがしっかりあります。第4楽章はややくどい。		8.553888	NAXOS
Hugo Emil Aifven	アルヴェーン	1872-1960	5	交響曲第4番 海辺の岩礁にて(1919)	※※	ソプラノとテノールのヴォカリーゼ付。単一楽章。聞き映えのする部分もあります。		LPです。 H-6062	Pioneer
Melcher Melchers	メルケシュ	1882-1961	1	交響曲ニ短調(1925)	☆☆☆☆	特に第3楽章は聞き映えがします。3つの楽章で37分。		ODE 14198-2	ONDINE
Kurt Atterberg	アッテルベリ	1887-1974	9	交響曲第1番(1910)	★★★★★	第4楽章のテーマは大変catchyです。吹奏楽にアレンジすれば中高生に大受け間違い無しです。		999 639-2	CPO
				交響曲第2番(1913)	★★★★★	冒頭はヘ長調のパストラレ風ですが、以後は1番と同じようにcatchyな響きに満ちていきます。最初は2つの楽章のみで発表されたため、第2楽章の終結部は完全にフィナーレ風に盛り上がります。		999 565-2	CPO
				交響曲第3番(1916)	※※	通俗的な気分が出過ぎています。		999 640-2	CPO
				交響曲第4番(1918)	☆☆☆☆	演奏時間21分、やや物足りないです。ゆっくりした第2楽章は充実していますが、他の3つの楽章はあっさりしすぎ。		999 639-2	CPO
				交響曲第5番(1922) 副題:葬送シンフォニア	★★★★★	第2楽章が副題に似合う音楽。第3楽章の途中でプロコフィエフ風のワルツになります。最後は静かに終わります。		999 565-2	CPO
							999 640-2	CPO	

				交響曲第6番(1928)	☆☆☆☆	シューベルト没後100年記念の作曲コンクールの優勝曲。分かりやすい(通俗的な)旋律にあふれています。冒頭のホルンは第2番冒頭と酷似。	○	BIS-CD-553	BIS
				交響曲第7番(1942)副題: シンフォニア ロマンティカ	☆☆☆☆	16世紀を題材としたオペラの音楽を再構成した物です。古めかしい部分もあります。第1楽章の冒頭、終結部など大変魅力的です。終曲はジーク。		999 641-2	CPO
				交響曲第8番(1945)	×	民謡風の旋律があからさまに出てきます。第1楽章でトランペットがあからさまに民謡旋律を吹く部分はロシア民族楽派そのものです。		999 641-2	CPO
				交響曲第9番(1957)	×	独唱、合唱を伴いますが、ベートーベンの第九のイメージはまったくありません。歌詞がつくと旋律の創作力が鈍るのでしょうか。楽しくありません。		999 913-2	CPO
John Fernstrom	フェーンストレム	1897-1961	12	交響曲第6番(1938)	☆☆☆☆	4つの楽章で48分。聴きごたえのある部分が多くあります。		PSCD706	Phono Suecia
Wiren Dag	ダグ	1905-1986	5	交響曲第2番(1939)	☆☆☆☆	3楽章で30分。北欧らしい雰囲気があります。第1, 3楽章がスケルツォ風で聞きやすいです。		999 677-2	cpo
				交響曲第3番(1944)	☆☆☆☆	3楽章で22分。第1, 3楽章は祝典的な雰囲気。シベリウスの第5番が連想されます。			
Hans Eklund	エクルンド	1927-1999	13	交響曲第3番(1968)	☆☆☆☆	金管楽器とティンパニが目立ち、かなり大衆的な音がします。第3楽章はショスタコービッチの交響曲のフィナーレの一部のような感じがします。3つの楽章で14分なので交響曲を聞いたという充実感はありません。		555 087-2	cpo
				交響曲第5番(1977)	☆☆☆☆	この曲も打楽器が目立ちます。第3楽章はニールセンのような感じがします。3つの楽章で19分。			
				交響曲第11番(1995)	※※	地味な印象です。3つの楽章で27分。これが最長とのこと。			
Amders Eliasson	エリアソン	1947-2013	4	交響曲第3番(1989/2010) ソプラノサクソフーン付き	☆☆☆☆	ほとんどサクソフーン協奏曲です。作曲年にしてはオーケストラが良く鳴る曲です。5つの部分で24分。		BIS-2368	BIS
				交響曲第4番(2005)	☆☆☆☆	フリューゲルホルンが多用され、ほとんど協奏曲のようです。オーケストラが良く鳴る曲です。4つの部分で24分。			

Niklas Sivelov	シーヴェレフ	1968-	6	交響曲第1番(2013)	※※	現代曲ではないが、何を言いたいのかわからない。	8.574508	NAXOS
				交響曲第5番(2020) 管弦楽のための協奏曲	※※	同上		